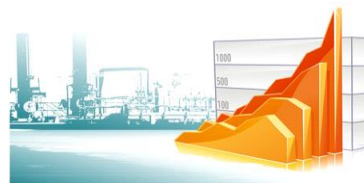


ぎふ経済レポート



令和2年2月分
岐阜県商工労働部

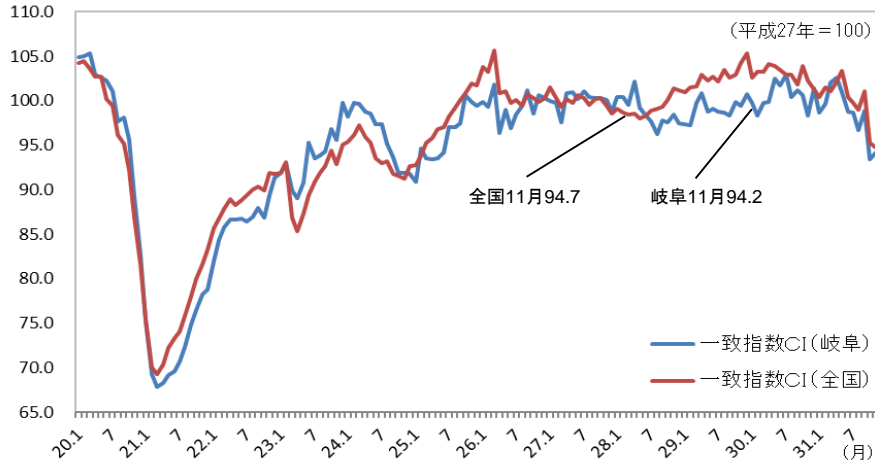
※企業等へのヒアリングは 2月25日～28日を中心に実施し、3月12日に作成。

景気動向

- 11月の景気動向指数(一致指数)は、94.2で前月比0.8ポイント上昇した。
- 1月の県内中小企業の景況感は、▲47で前月比▲6ポイントと低下した。

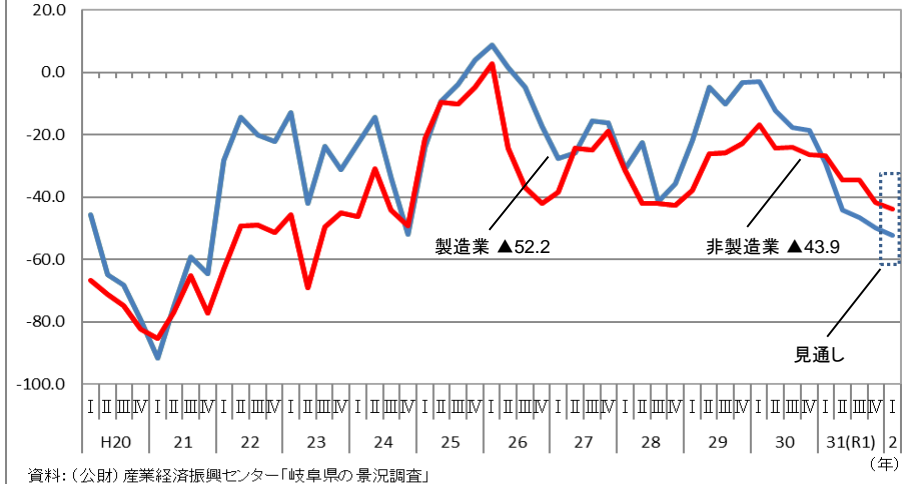
- 1-3月期の景況DI見通しは、製造業で▲2.2ポイント、非製造業で▲2.0ポイントと低下。
- 同売上高DIは、製造業で▲3.0ポイント、非製造業で▲4.5ポイントと低下。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移



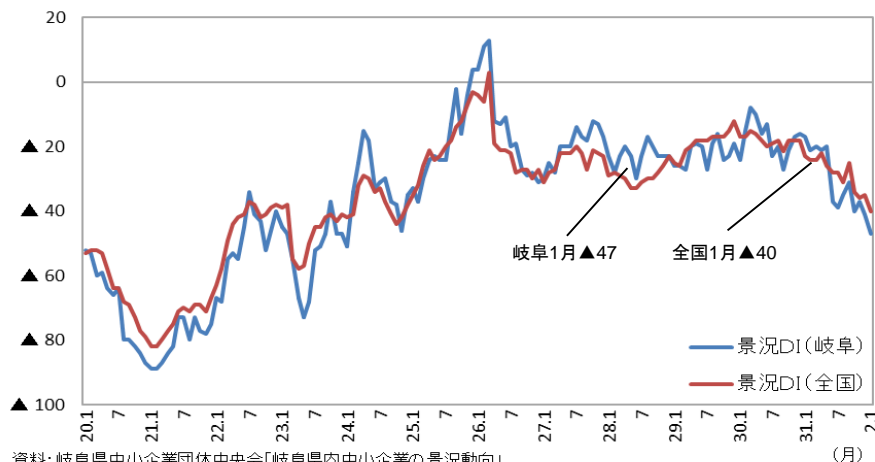
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



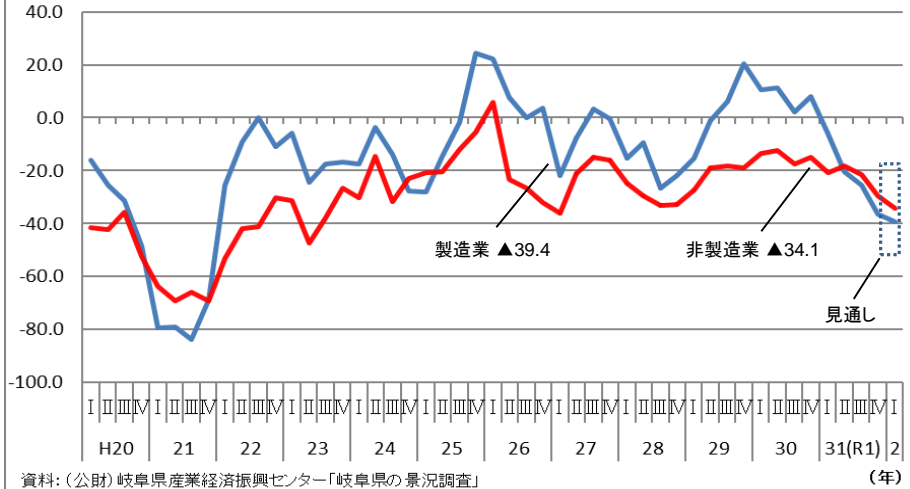
資料: (公財)産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



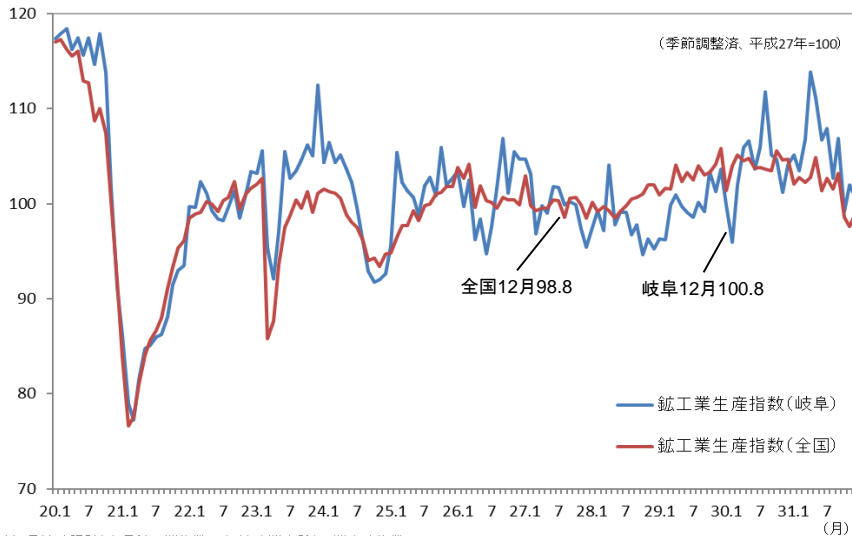
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

製造業

- 12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、100.8で前月比▲1.2%と低下した。
- 非鉄金属とはん用機械で上昇したものの、その他の産業は低下した。

- 12月の主な産業の指数は、非鉄金属で前月比7.4%、はん用機械で同4.1%上昇したものの、化学工業で同▲7.4%、鉄鋼業で同▲3.5%等、低下する産業が目立った。

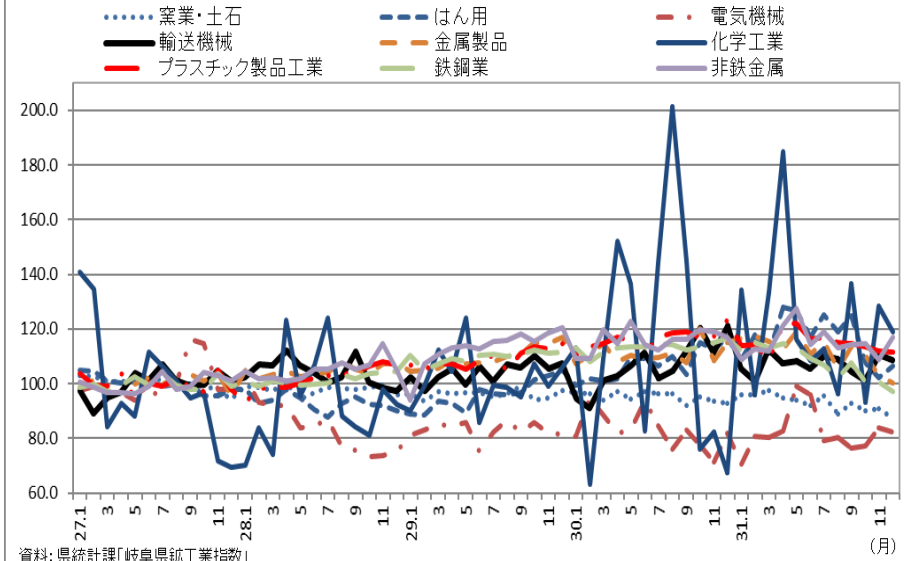
鉱工業生産指数の推移



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成22年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」

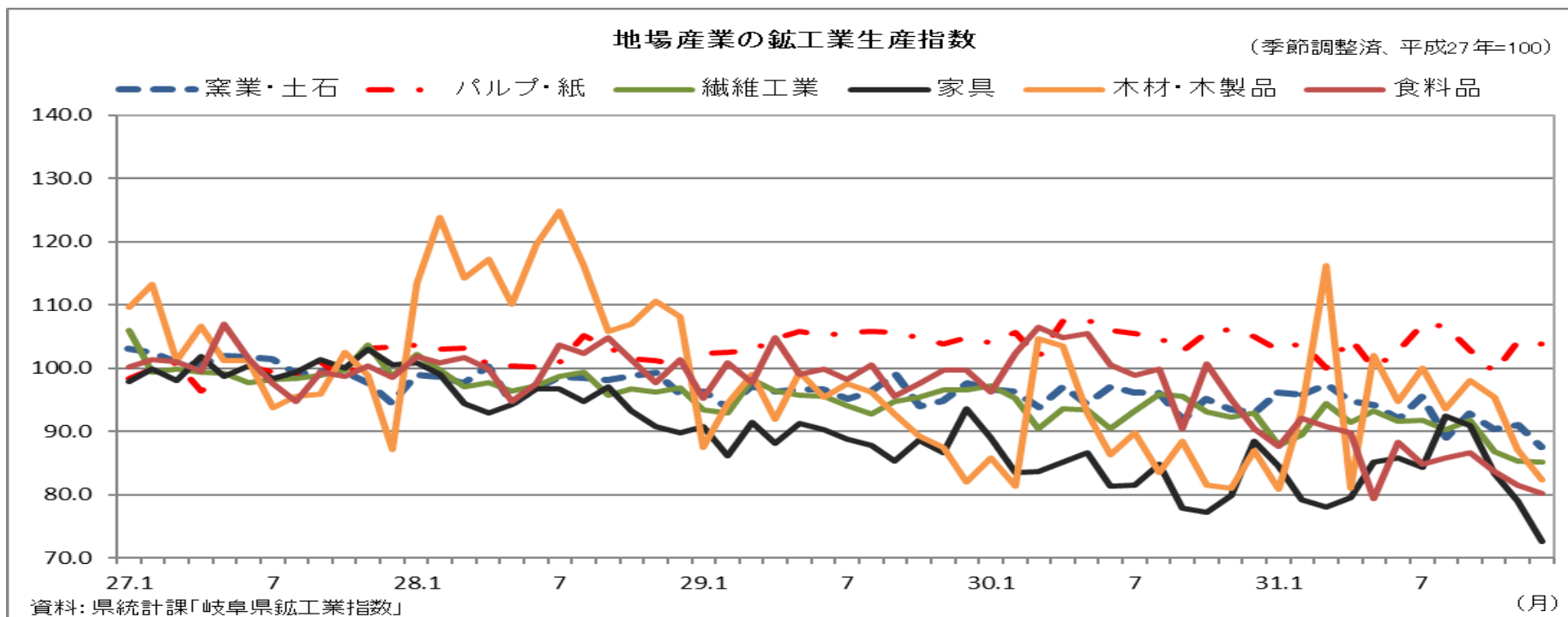
現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6に掲載)

- ◆航空機関連でこの春より開始される量産の受注を獲得し、試作加工を完了させた。(輸送用機械)
- ◆主要取引先の一部車種について、生産台数、販売台数ともに落ち着いている。(輸送用機械)
- ◆貿易摩擦による影響は、若干は和らいできた。(生産用機械)
- ◆受注は厳しい状況にあり、契約の見送りや受注キャンセルも一部で発生。(生産用機械)
- ◆中国から調達している部品が輸入されず、納入が遅れているため、前月比▲4%となっている。(生産用機械)
- ◆受注残が減少しており、先行きに関してはさらに厳しい状況が予想される。(生産用機械)
- ◆横ばいが続いている。売れ行きの良い車種の部品を受注できていないことが原因。(プラスチック製品)

製造業-2

○12月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、家具で前月比▲8.1%、木材・木製品で同▲5.5%、窯業・土石で同▲3.8%、食料品で同▲1.6%、パルプ・紙で同▲0.3%、繊維工業で同▲0.2%と低下し、すべての産業で低下した。



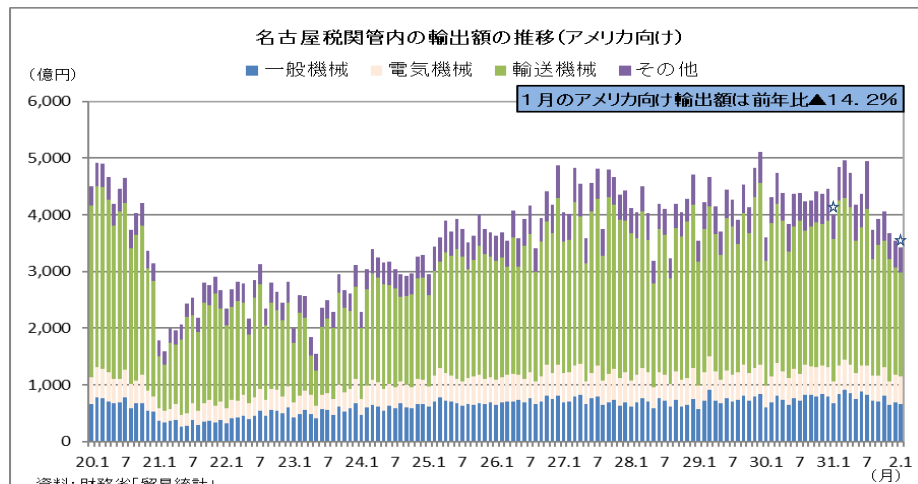
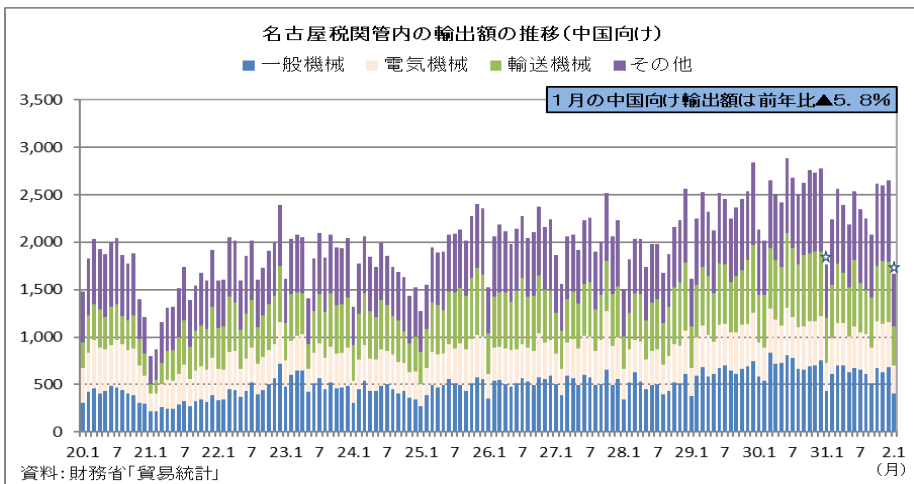
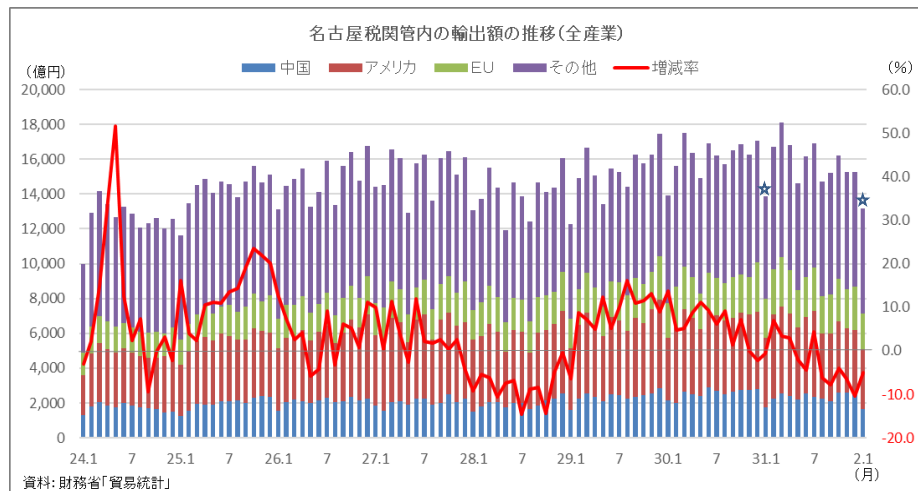
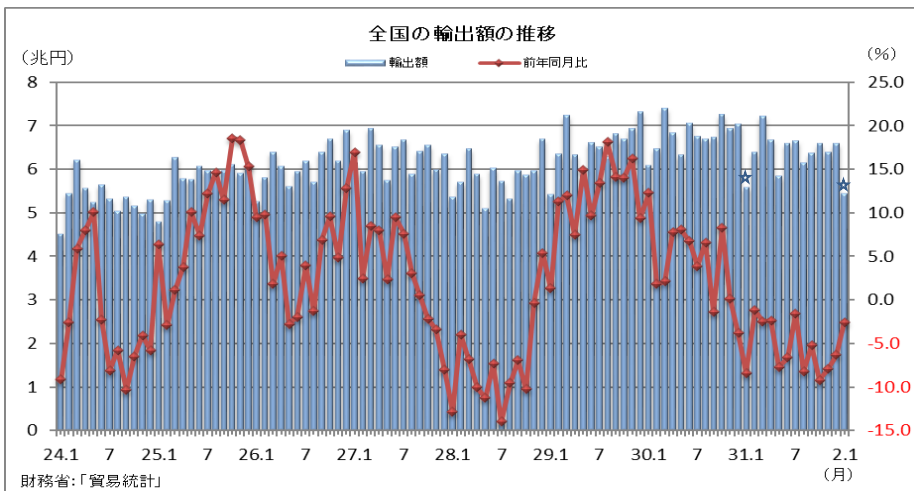
(※新型コロナウイルス関連はP6に掲載)

現場の動き

- ◆2年連続の暖冬の影響で、新規の発注が少なくなっており、秋冬物の在庫をかなり抱えている。(アパレル)
- ◆輸出が大きく減少しており、中には前年の半分程度の受注しかない会社もあると聞く。(陶磁器)
- ◆例年に比べて売上は落ちている。1月から引き続き冷え込んでいる。(木工)
- ◆原材料価格は高止まりの状況。送料については、値上がりしている。(紙)
- ◆主力の贈答品が、ギフト需要の減少により売上を落としている。(食品)
- ◆スーパーやネット販売は前年並みだが、道の駅等の観光関連の売上が落ちている。(食品)

輸 出(名古屋税関管内)

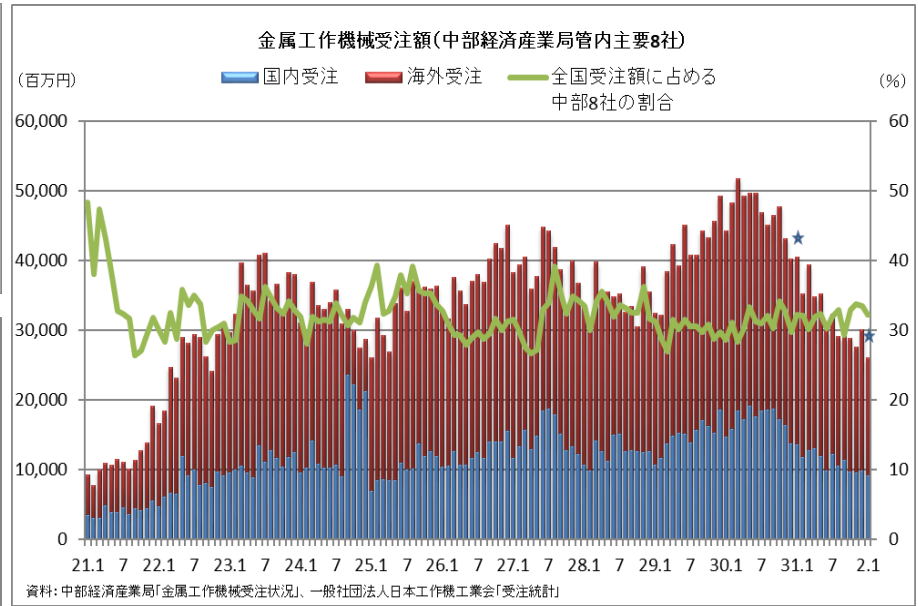
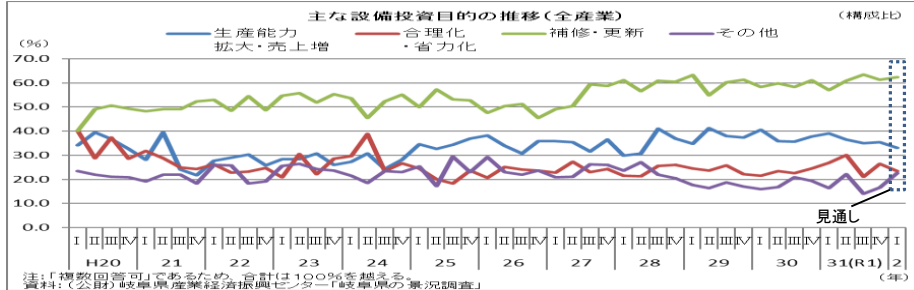
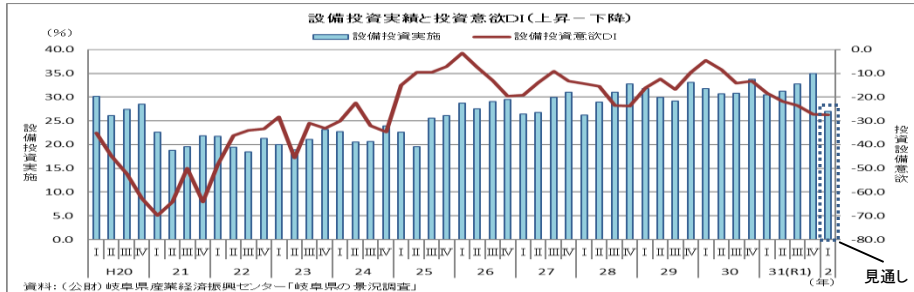
- 1月の輸出額(全国)は、5兆4,312億円の前年同月比▲2.6%と14ヶ月連続で減少となった。
- 1月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆3,157億円で前年同月比▲5.0%と減少し、6ヶ月連続で前年同月を下回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比▲5.8%と減少し、11ヶ月連続で前年を下回った。
- その内、輸送機械で前年同月比▲14.0%と大幅に減少した他、一般機械等も減少した。
- アメリカ向けは、全体で同▲14.2%と減少し、6ヶ月連続で前年を下回った。



設備投資

○1-3月期の設備投資実施見通しは前期比▲8.0ポイントと低下、設備投資意欲DI見通しは同▲0.2ポイントと低下。目的別では、「補修・更新」で前期比1.0ポイント上昇したものの、「合理化・省力化」は同▲3.1ポイント、「生産能力拡大・売上増」は同▲2.3ポイントと低下した。

○1月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比▲35.7%と15ヶ月連続で前年を下回った。内訳は国内受注では多くの工業向けが不調で、同▲32.6%と14ヶ月連続で前年を下回り、海外向けも同▲37.3%と15ヶ月連続で前年を下回った。



現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6に掲載)

- ◆自動車部品加工の増産に伴い、1台NC旋盤を導入する。(輸送用機械)
- ◆8月に納入される予定の設備の納品時期が未定となり、かなり遅れることが予想される。また、現状の経済情勢では思い切った設備投資ができない状況となっている。(金属製品)
- ◆今年度は顕著に設備投資が実施されているが、昨今の経済情勢により、控えるといった報道が出ているため、影響を注視していく。(金融)
- ◆設備投資の種類としては更新が多い(金融)

製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

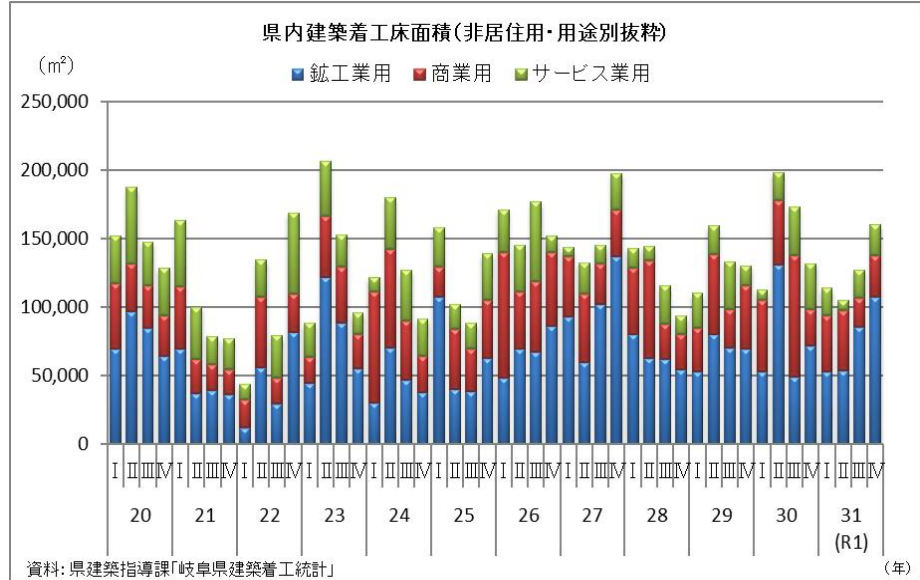
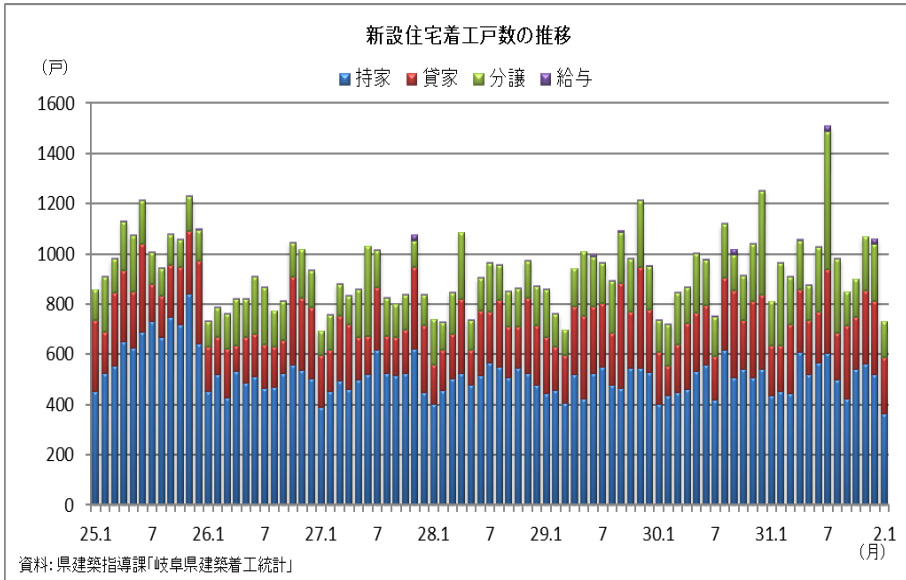
- ◆中国工場は再稼働したものの、70%程度の稼働状況。中国で生産していた製品を日本国内工場やベトナム工場生産することで対応している。(金属製品)
- ◆中国内の生産会社について、当局の規制の中、防護策を講じ、許可を得て稼働を再開したが、厳格な日常管理が必要となっている。現時点で日本国内の生産には影響は無い。(輸送用機械)
- ◆当初はそれほど影響は出ないとの予測であったが、日を追うごとに中国関係のサプライチェーンが棄損しているとの情報もあり、経済活動に与えるマイナス影響が増している。(輸送用機械)
- ◆自動車部品について、中国での生産停止による瞬間的な応援生産の引き合いはある。(輸送用機械)
- ◆中国内でのドライバー不足が顕著。物流に大きな影響が出ている。(輸送用機械)
- ◆中国行きの空路が減少しているため、同国向けの輸送が相当遅延している。(輸送用機械)
- ◆物流ルートが変更されていることから、燃料費や輸送日数が嵩み、コストの上昇が懸念される。(輸送用機械)
- ◆新型コロナウイルスの影響によっては、設備投資を控える可能性もある。(輸送用機械)
- ◆中国向け売上が減少しており、新型コロナウイルスの影響だけで、3~4千万円の売上減となった。(金属製品)
- ◆中国から輸入している資材について、2週間程度を要するため、生産調整を行う必要がある。(生産用機械)
- ◆新型コロナウイルスの影響により、2月から4月の売上は20%程度落ち込むと予想している。(生産用機械)
- ◆中国から調達している材料は当面の間は確保しているが、長期間に及ぶと生産に影響が出る。(生産用機械)
- ◆中国との商談が進まない状況が続いており、受注は低迷している。(生産用機械)
- ◆中国及び韓国において物流や企業活動への支障が生じており、一部で輸出が滞っている。(生産用機械)
- ◆中国での生産再開の遅れに伴い、既に一部の部品について納入の見通しが立っていない。(生産用機械)
- ◆特に影響は出ておらず、今後もほぼ無いと考えているが、注視の必要はある。(プラスチック製品)
- ◆物流の停滞に伴い、中には稼働日を減らしたり、休業状態の企業もある。中国以外の産地へ振り分ける動きもあるが、国内の製造では工賃が折り合わず、有効な対応策は見つかっていない。(アパレル)
- ◆3月に予定されていた展示会が、新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して開催することとなった。今後も仕入業者の来岐や店舗での販売に影響が出ることを懸念している。(アパレル)
- ◆国内市場の一部では海外からの輸入が止まり、国内の製造業者に声がかかっていると聞く。(陶磁器)
- ◆展示場への来客が減ったり、インバウンド事業も延期となったりと影響が出ている。(刃物)
- ◆宿泊関係や飲食関係の売上がほとんどを占めており、影響が非常に大きい状況。(紙)
- ◆新型コロナウイルスの影響で、3月はさらに業績が悪化する見込み。(紙)
- ◆各種イベントが中止となったため、物販ができなくなった。(食品)
- ◆企業説明会が延期となったため、来年度への不安が大きい。(木工)

住宅・建築投資

○1月の住宅着工戸数は、前年同月比▲9.9%と2ヶ月連続で前年同月を下回った。

○貸家で前年同月比12.6%と増加したものの、分譲で同▲17.8%、持家で同▲17.0%と減少した。

○10-12月期の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比▲31.6%と減少したものの、鉱工業用で同50.6%、商業用で同11.7%増加したことから全体としては同21.8%と3期ぶりに増加した。

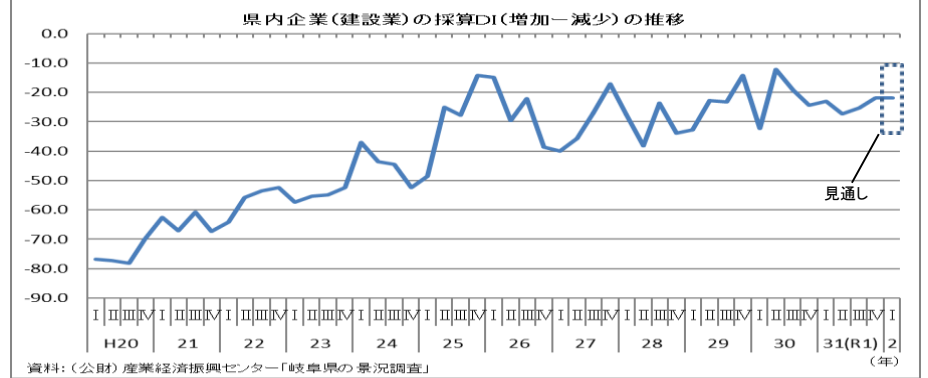
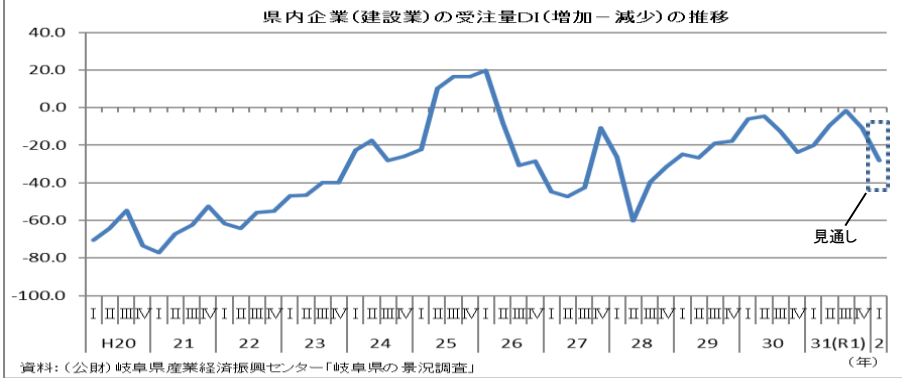
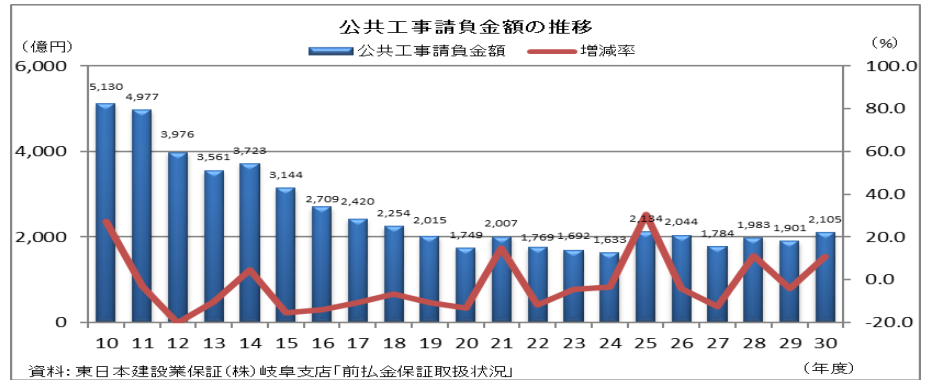
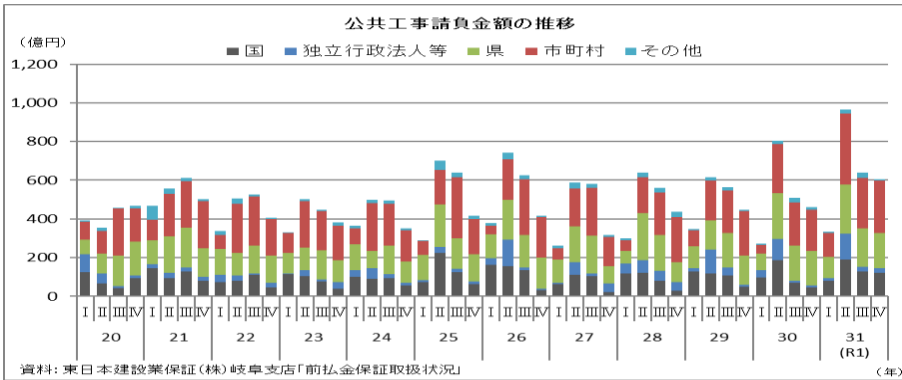


現場の動き

- ◆新型コロナウイルスの影響で、資材が揃わず工期が伸びた場合、引き渡しが遅れ、併せて資金回収ができず、経営が困難となる可能性がある。(木材加工)
- ◆新型コロナウイルスについては、中国からの輸入木材はないため、現時点で影響はない。(木材加工)
- ◆展示場への来場者数は緩やかに減少しているように感じている。また、新型コロナウイルスの影響で、中国からの製品(特にトイレ)が入手困難となっている。(住宅建設)
- ◆新型コロナウイルスの影響は建築業界にも出ている。(流通組合)
- ◆住宅建設関連の部品等で中国から調達しているものが入ってこなくなっている。(流通組合)

公共工事

- 10-12月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比161.7%、独立行政法人等と同108.1%、市町村で同26.3%増加するなど、全体で同31.3%増加した。
- 県内建設業の1-3月期の受注量DI見通しは前期比▲17.2ポイントと低下、同採算DI見通しは前期と同水準。



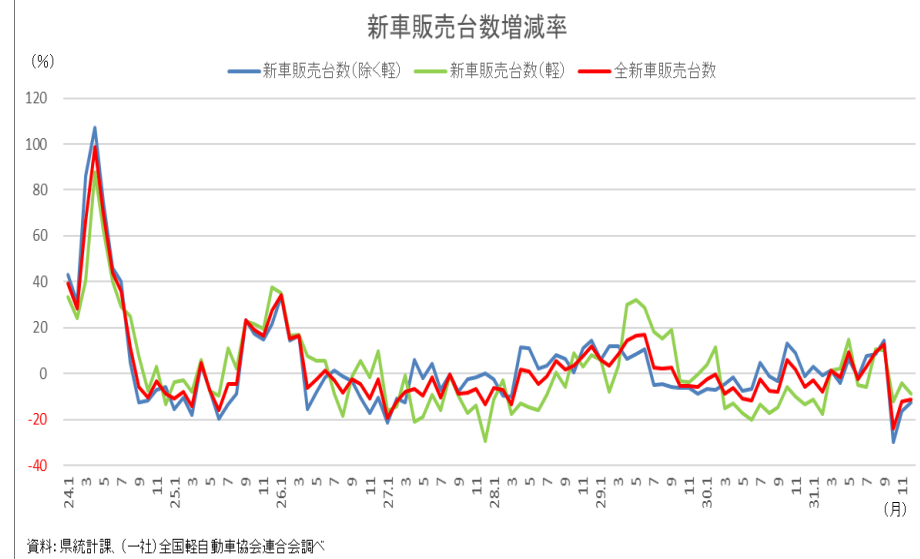
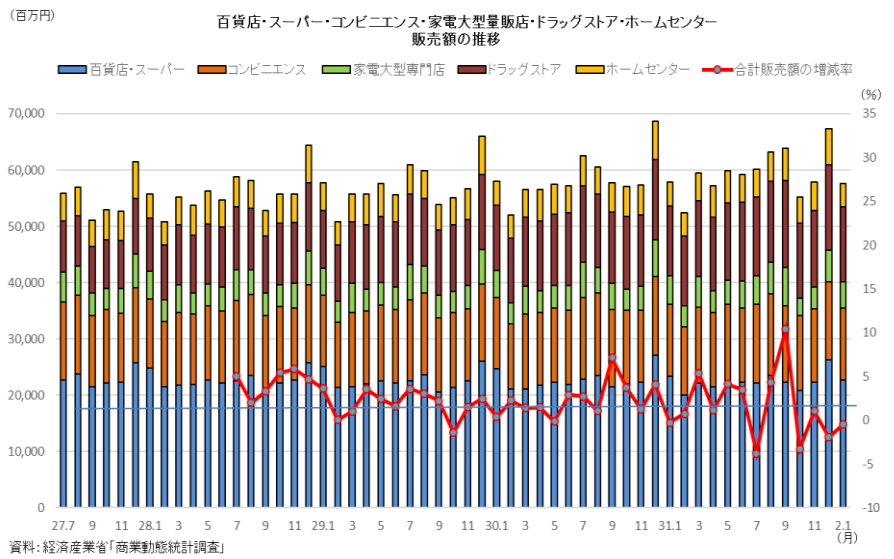
現場の動き

- ◆年間を通して、昨年同様のボリュームが出ていると感じる。
- ◆技術者が不足しており、労働力において需要と供給のバランスが全く取れていない。
- ◆働き方改革において、社内改革を推し進めた結果、従業員の意識に変化が出てきた。
- ◆新型コロナウイルスの動向、影響を非常に心配している。(以上、建設業者)

個人消費(流通・小売)

○1月はドラッグストアで前年同月比7.2%、コンビニで同0.1%増加したものの、家電大型専門店で同▲5.2%、百貨店・スーパーで同▲3.3%、ホームセンターで同▲3.1%と減少し、全体で同▲0.4%と2ヶ月連続で減少した。

○1月の新車販売(除く軽)は、前年同月比▲14.1%と4ヶ月連続で減少し、軽自動車は、同▲17.3%と4ヶ月連続で減少した。
○合算では同▲15.4%と、4ヶ月連続で前年同月を下回った。



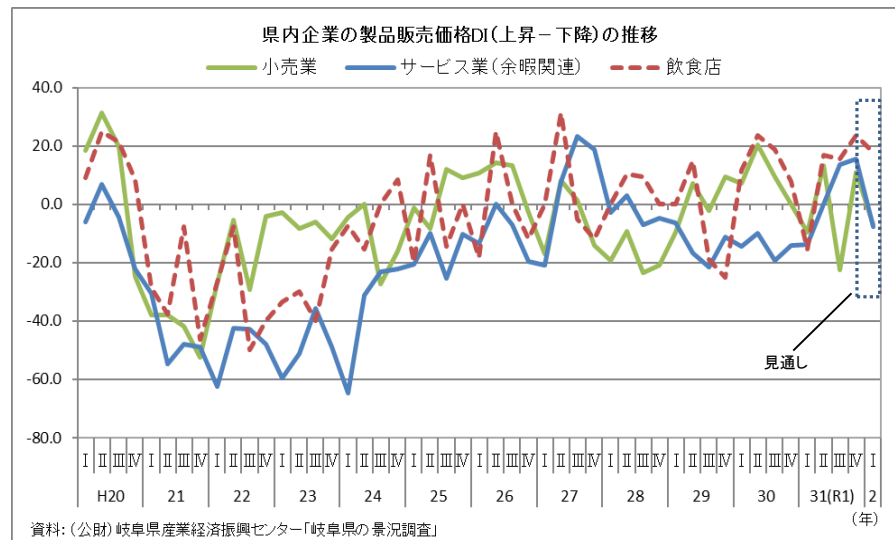
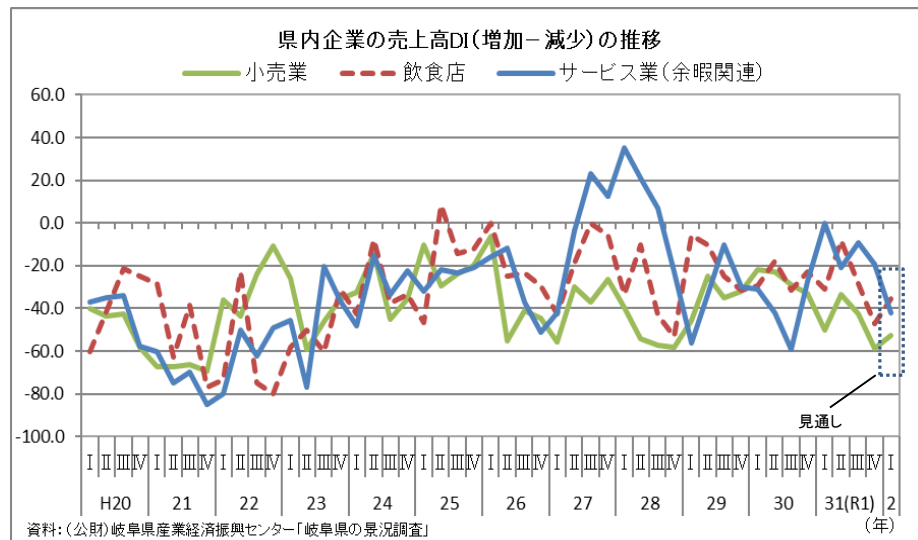
現場の動き

- ◆新型コロナウイルスの影響によりマスクや消毒液は完売し、全く足りていない。また2~3月の館内でのイベントは規模の大小にかかわらず中止が決定した。(岐阜市内大型商業施設)
- ◆新型コロナウイルスの影響により平日の客数は昨年同月比で60%落ち込む日もある。全体でも1割~2割の客数が減少している。マスク・消毒液の問い合わせが非常に多い。(各務原市内大型商業施設)
- ◆新型コロナウイルスの影響により3月いっぱいまでの全てのイベントを中止としたため、集客を止めることとなり非常に痛手。またマスクや消毒液が全く足りない。(大垣市内大型商業施設)
- ◆暖冬に加え、新型コロナウイルスの影響によるスポーツ大会や学校行事等の休廃止により、深刻な状況となっている。(岐阜市内スポーツ用品店)

個人消費(流通・小売)－2

○1－3月期の売上高DI見通しは、小売業で前期比6.2ポイント、飲食店で同11.8ポイント上昇したものの、サービス(余暇関連)では同▲23.0ポイントと低下した。

○同じく販売価格DI見通しは、小売業で前期比▲18.0ポイント、飲食店で同▲5.9ポイント、サービス業(余暇関連)で同▲23.1ポイントと低下した。



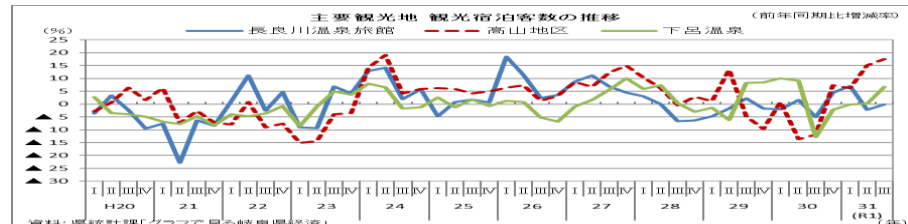
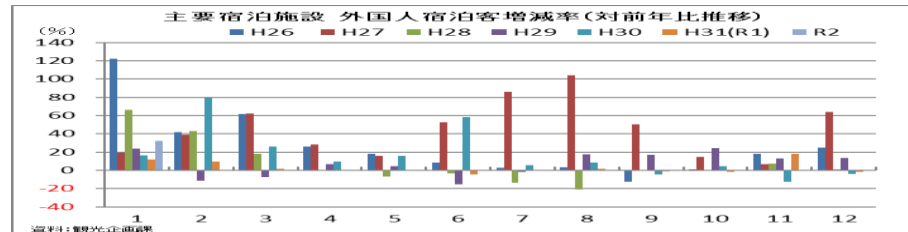
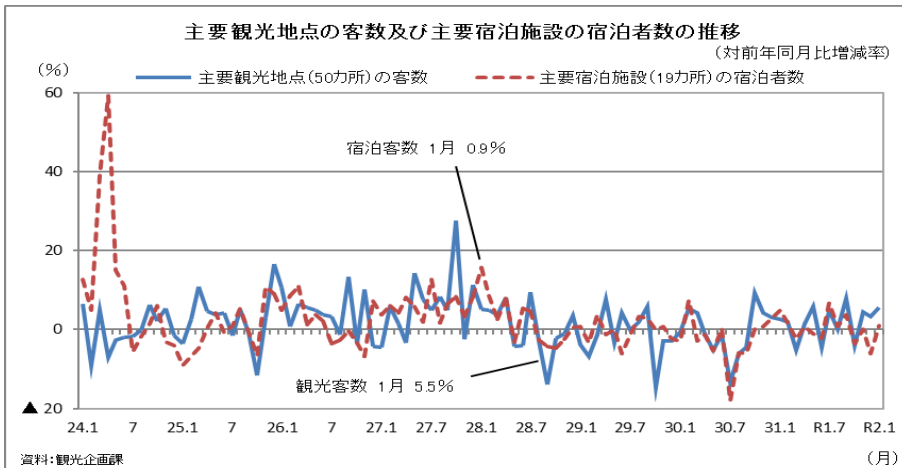
現場の動き

- ◆新型コロナウイルスの影響でイベントが中止されており影響を懸念。ブティック売上は前年同月比91%。暖冬の影響で冬物商品は動かず。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆日用品・雑貨店の売上は前年同月比30%減。新型コロナウイルスの影響により人出が悪い。
- ◆和菓子店の売上は同100～105%。プラス要因は昨年より1日営業日が多く、土日祝日が2日多いこと。マイナス要因は新型コロナウイルスによる景気の減退。(以上、大垣市商店街)
- ◆酒類販売店の売上は前年同月比100%。消費税増税の影響はない。キャッシュレス決済の利用が増えている。
- ◆時計・宝石店の売上は同90%。新型コロナウイルスの影響で人通りが少ない。(以上、多治見市商店街)
- ◆家電販売店の売上は前年同月比300%。高山のホテル建設の恩恵が続いている。ただし、予定していた展示会が新型コロナウイルスの影響で全面的に中止となり損害が出ている。
- ◆新型コロナウイルスの影響により、来客が大きく落ち込んでいる。(以上、高山市商店街)

観光

- 主要観光地の1月の観光客数は、前年同月比5.5%増加し、3ヶ月連続で前年同月を上回った。
- 主要宿泊施設の宿泊者数は、前年同月比0.9%と2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

- 1月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比32.2%増加し、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
- 7～9月期の主要観光地の観光宿泊者数は、前年同期比で高山と下呂が増加した。

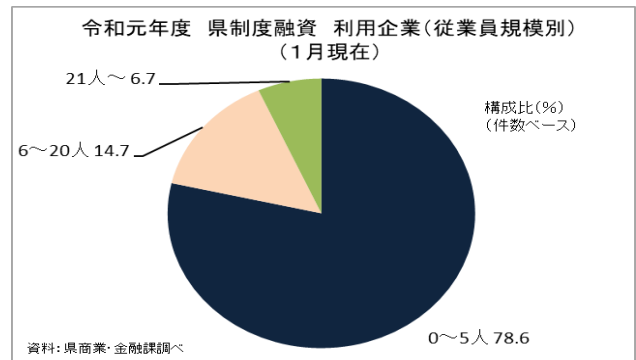
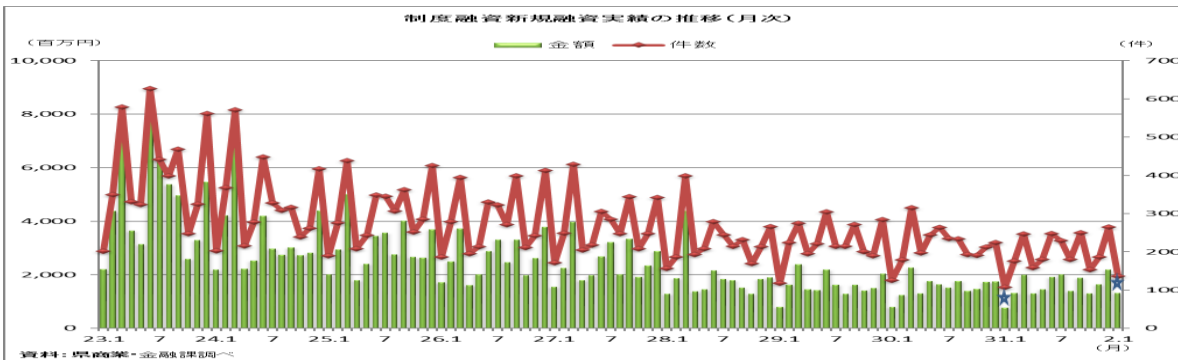
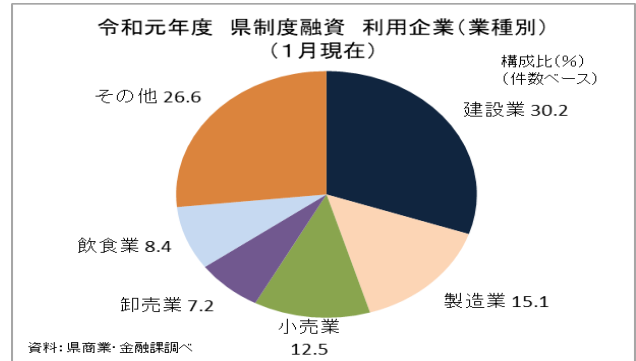
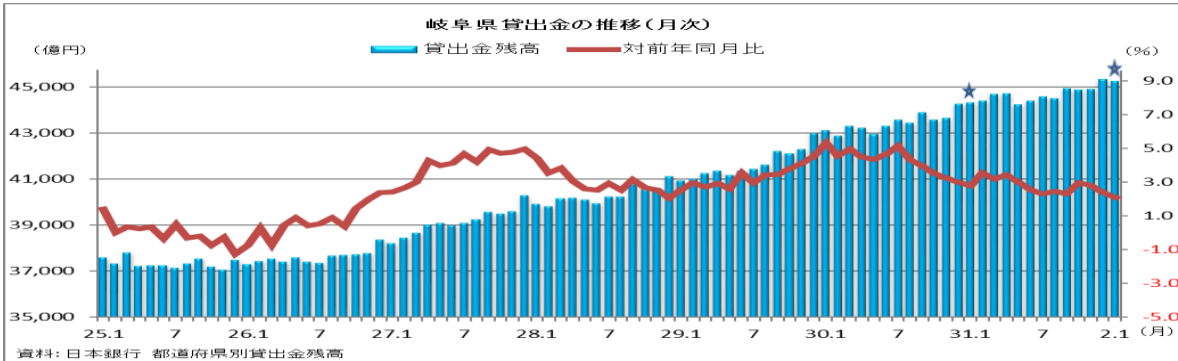


現場の動き

- ◆大河ドラマの効果が少しずつ出始めているので、期待している。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆雪不足の影響もあり、宿泊は伸びていない。(郡上市内の宿泊施設)
- ◆新型コロナウイルスの影響で、大幅なキャンセルが発生した。(岐阜、多治見、下呂、高山、飛騨市内の宿泊施設)
- ◆インバウンド団体はキャンセルとなった。(多治見市内の宿泊施設)
- ◆外国の方ばかりではなく、国内における団体のお客様も外出を控えている。2月は平年でも客足が遠のく時期であるが、それに拍車をかけている状況である。(恵那市内の宿泊施設)
- ◆100人以上の大口の団体や、国内団体がキャンセルになった。(下呂市内の宿泊施設)
- ◆1月後半から2月にかけて大幅にお客様が減少した。(下呂市内の宿泊施設)
- ◆中国人団体客の予約キャンセルが相次いでおり、大きな売上減少となっている。(下呂市内の宿泊施設)
- ◆毎年中国人観光客が宿泊に訪れていたが、現在は全く訪れていない。(下呂市内の宿泊施設)
- ◆中国人の宿泊キャンセルだけでなく、風評被害の高まりも大きく、大幅に売上が減少する。(高山市内の宿泊施設)

資金繰り

- 1月の岐阜県貸出金残高は、4兆5,269円で前年同月比2.1%とプラス基調が続く。
- 1月の制度融資実績は、金額が1,326百万円で前年同月比69.2%と2ヶ月連続で増加した。件数は136件で同27.1%と2ヶ月連続で増加した。
- 従業員規模別では、5人以下の事業所が全体の78.6%を占めている。

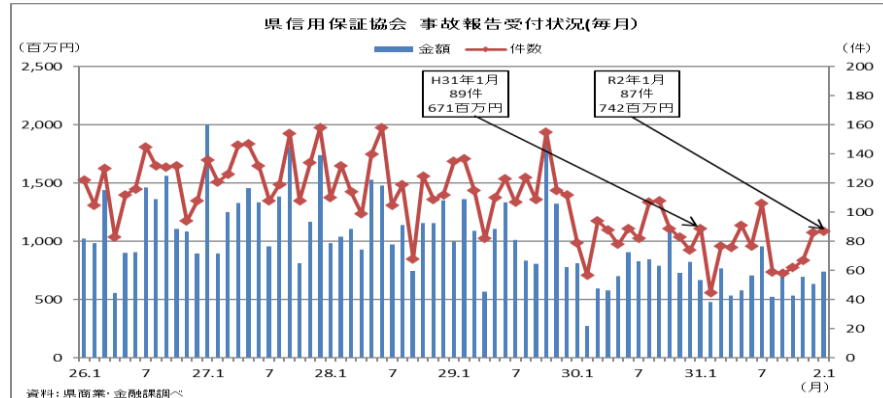
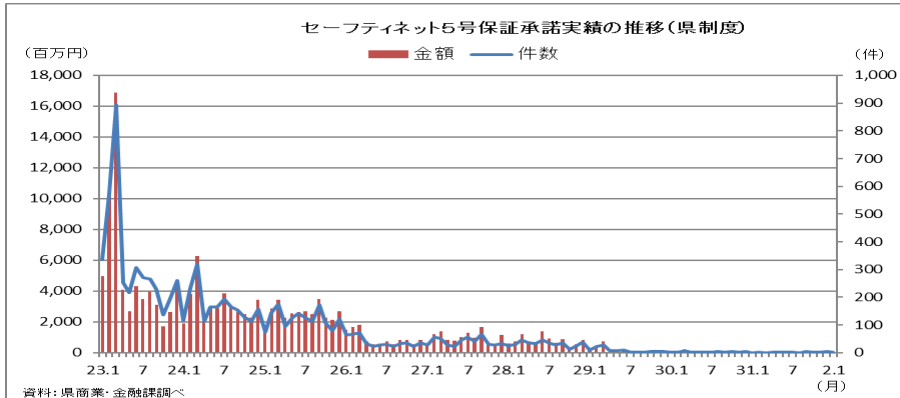
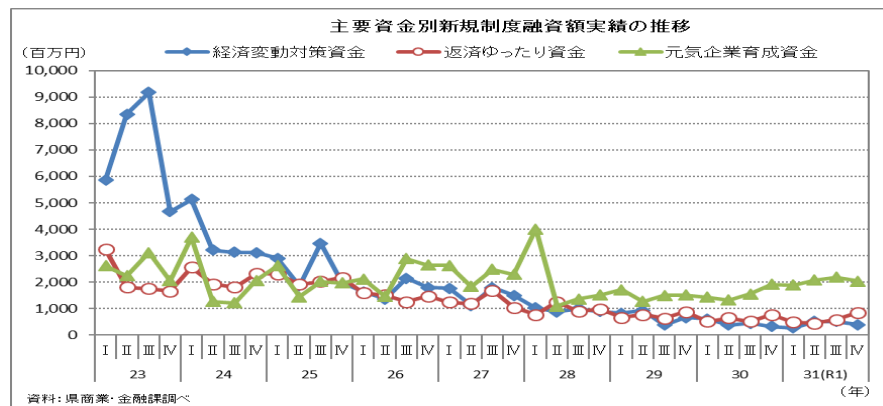
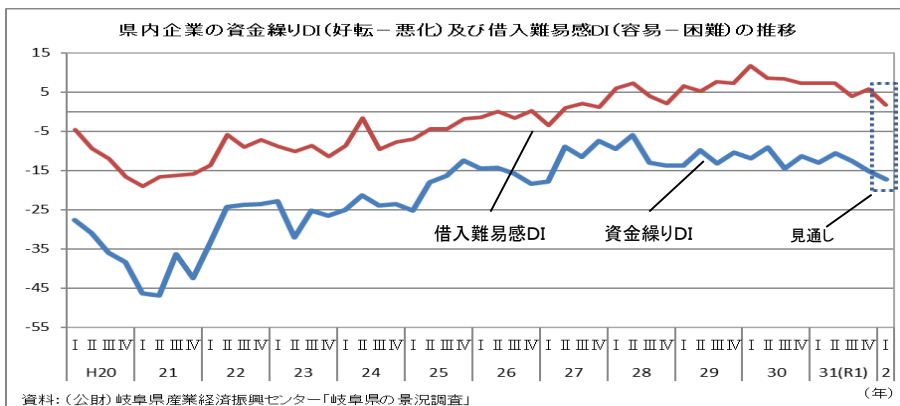


現場の動き

- ◆新型コロナウイルスの影響で、旅館等では、外国人団体客のキャンセルや、日本人観光客の旅行自粛により、大きな影響が出てきている。
- ◆新型コロナウイルスの影響では、顧客から返済猶予等の申し出はないが、中国から材料や製品が届かない等、今後長期化してこれば影響が出てくることは確実となっている。
- ◆新型コロナウイルスの相談窓口や融資制度を設けているが、現時点で利用はない。
- ◆地場産業では、中国と取引している業者が多いが、取引が止まってしまっている。(以上、金融)

資金繰り-2

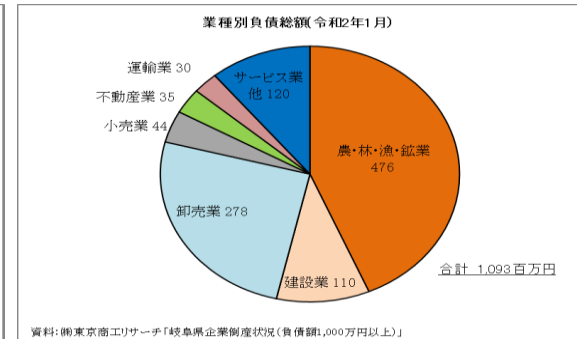
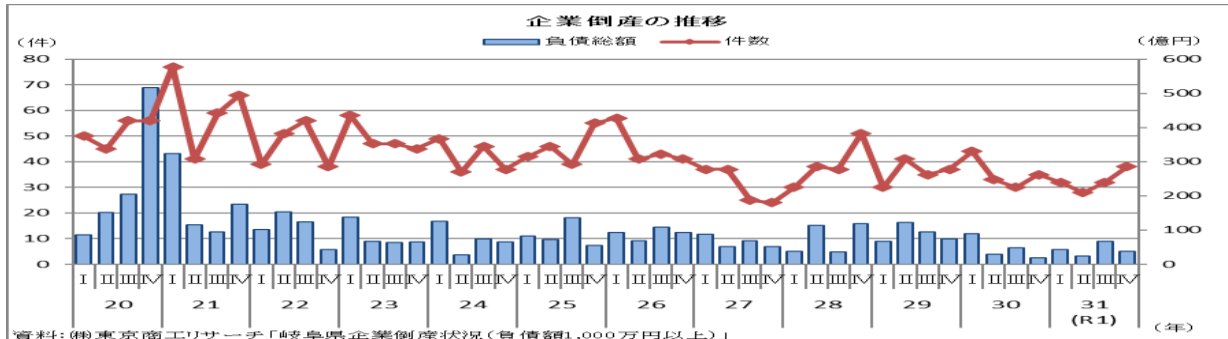
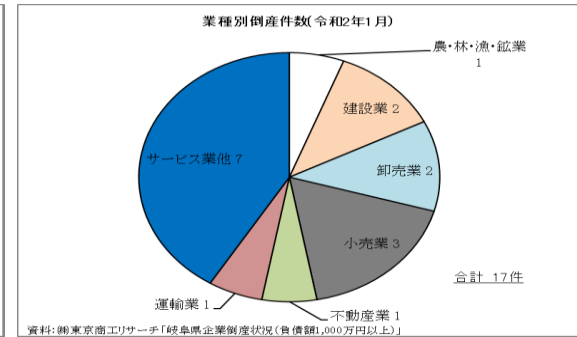
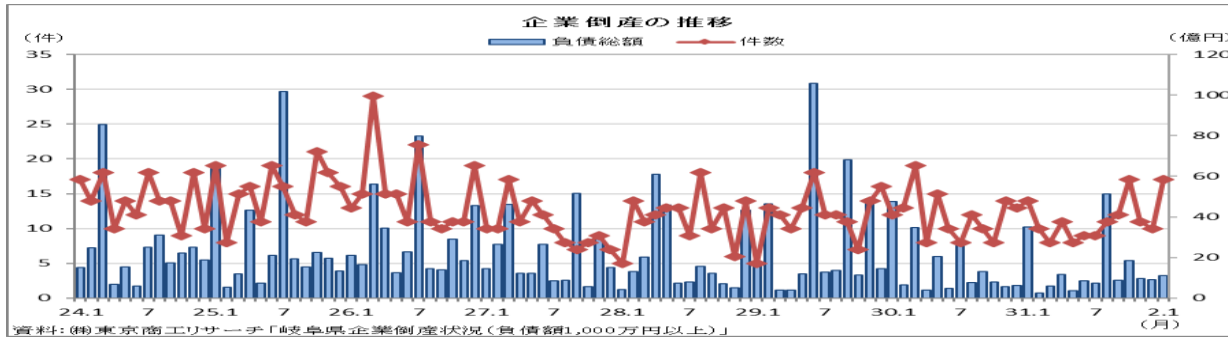
- 1-3月期の資金繰りDI見通しは▲17.2で、前期比▲1.9ポイントと低下。同借入難易感DI見通しは1.8で、同▲3.9ポイントと低下。
- 10-12月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比19.0%と3ヶ月連続で増加、返済ゆったり資金で同10.1%と2ヶ月連続で増加、元気企業育成資金で同6.6%と7ヶ月連続で増加となった。
- 1月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が1件で前年同月比▲3件と減少、金額は37百万円と3ヶ月連続で増加した。
- 1月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は87件で前年同月比▲2.2%と2ヶ月ぶりに減少。金額は742百万円で同10.6%と6ヶ月ぶりに増加。



倒産

○1月の倒産件数は前月比7件増加の17件、負債総額は前月比177百万円増加の1,093百万円となった。

○負債総額5億円以上の倒産が2件発生し、負債総額は3,498百万円となった前年同月と比べ、負債総額5億円以上の倒産がなく、負債総額は減少に転じた。



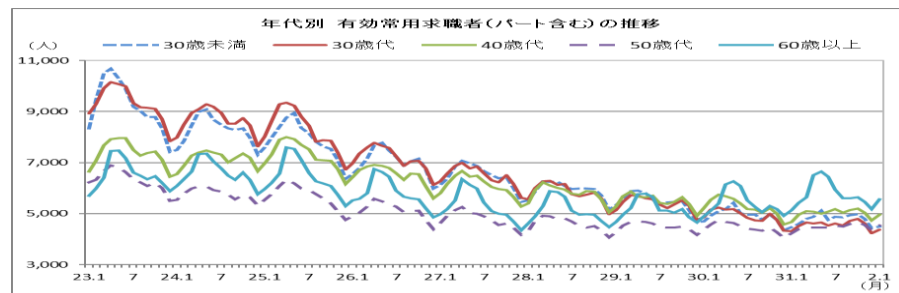
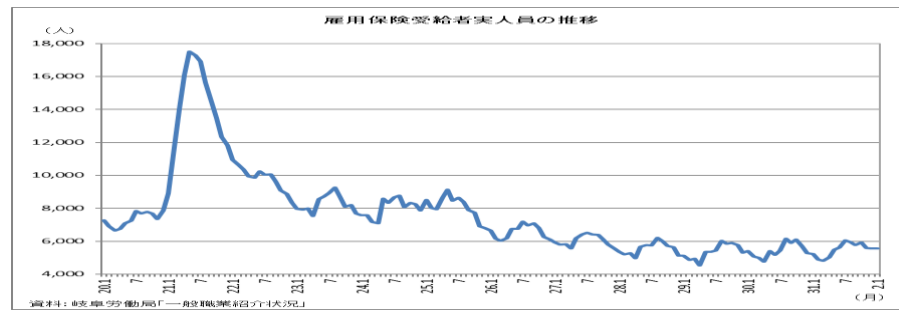
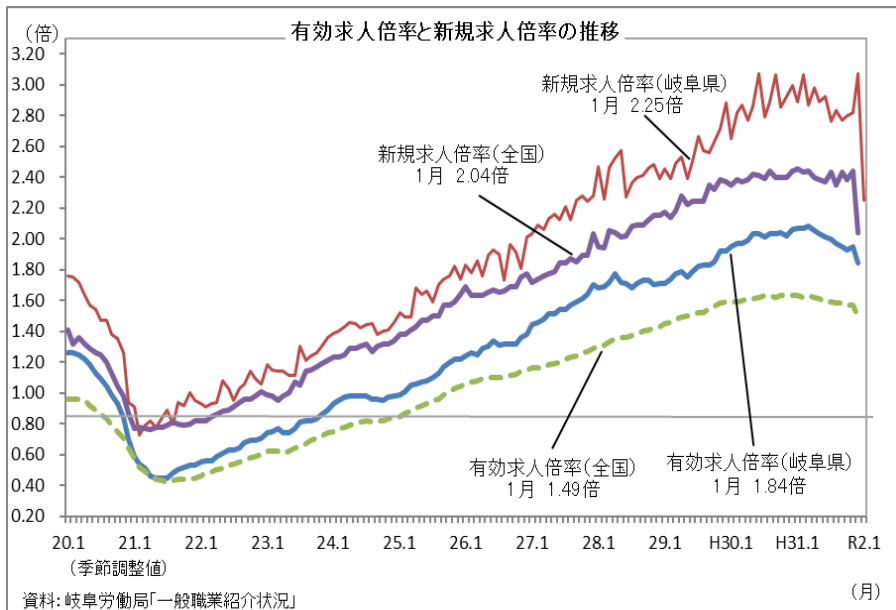
専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆令和元年12月の倒産件数10件と比較して7件増加でスタート。倒産件数が単月で15件以上となったのは近年では平成30年3月度、令和元年10月度に続き3度目。平成31年2月以降は倒産件数10件前後の小康状態が続いたが、9月以降の傾向を見ると、増減の波が大きく、今後の見通しに楽観と悲観が入り混じる一定しない動きにある。
- ◆国内景気は記録的な暖冬で季節需要が落ち込んだほか、海外経済の減速に伴う製造業の低迷が関連業界への波及している。また拡大する新型コロナウイルスの影響も「ヒト・モノ・カネ」の流れを阻害しており、経済への打撃は避けられない状況にあり、緩やかな後退が予想される。

雇用

- 1月の有効求人倍率は1.84倍と前月比▲0.11ポイントと低下。全国で4番目の水準。
- 1月の新規求人倍率は2.25倍と前月比▲0.82ポイントと低下した。

- 1月の雇用保険受給者人員は、前月比▲0.2%と低下した。
- 年代別有効常用求職者は、全ての年代で前年同月比増加した。



現場の動き

- ◆現場の人手不足感に変化はないが、非正社員への応募数は前月と比較して3倍となっている。(輸送用機械)
- ◆派遣社員は不足していない。2020年度の高卒採用は例年通り。(輸送用機械)
- ◆求職者の反応は低調になっている。(生産用機械)
- ◆受注の減少により、人手の余剰感も顕在化しつつある。一方で高スキル者については慢性的な人手不足が続いている。(生産用機械)
- ◆4月からの入社は予定通りの人数を確保することができた。(木工)
- ◆同業種はもちろん、同エリア内の他業種と競合している状況。(陶磁器)
- ◆業種を問わず、引き続き人手不足が継続している。(金融)

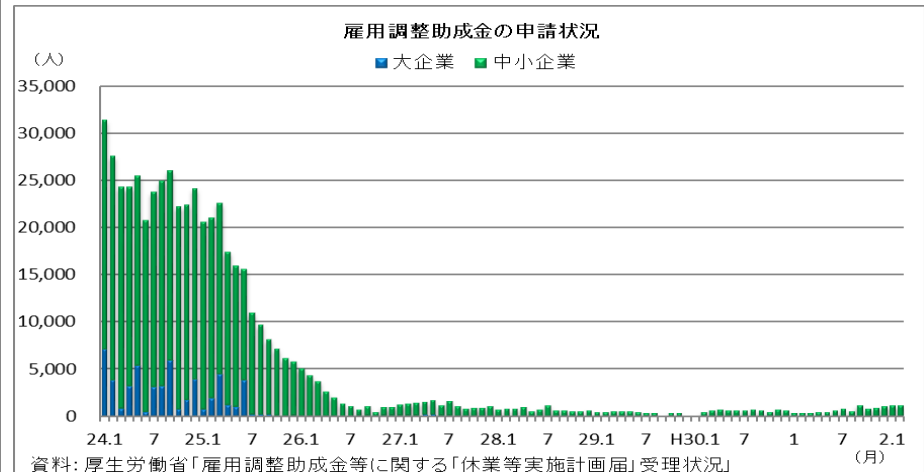
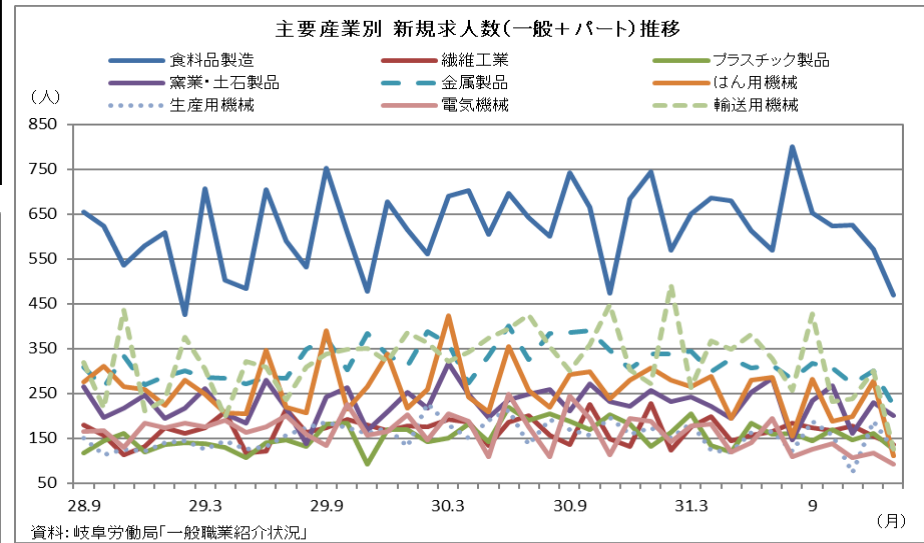
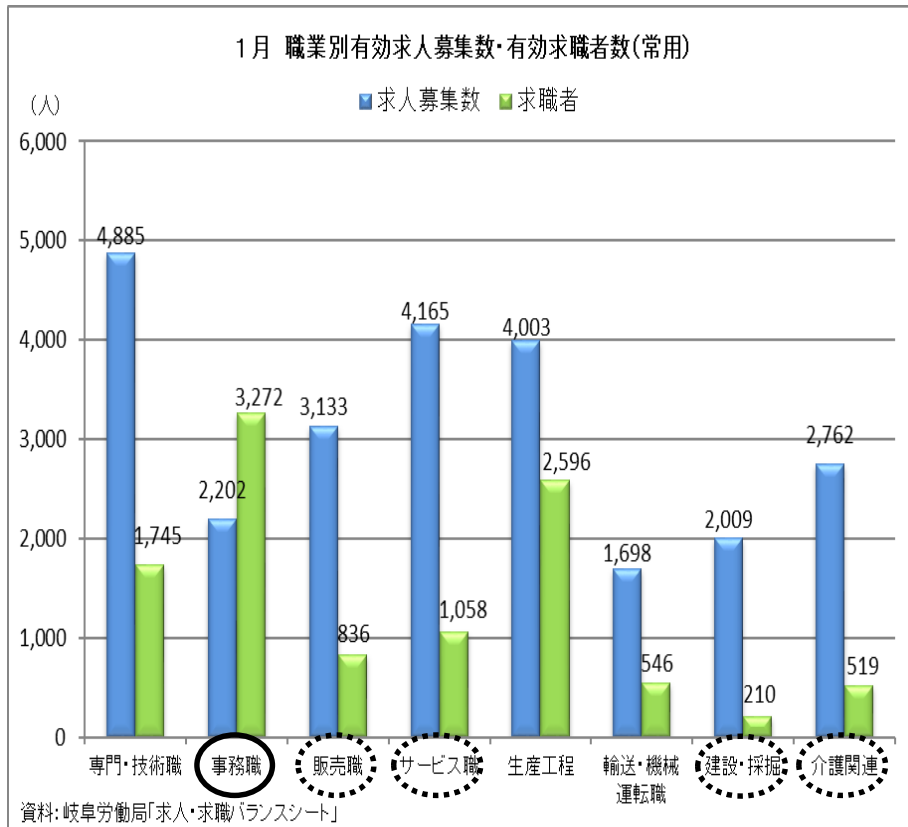
雇 用(職業別)

○多くの分野において人手不足の状態。建設・採掘は求人倍率9.6倍、介護関連は求人倍率5.3倍となる等、特に顕著。

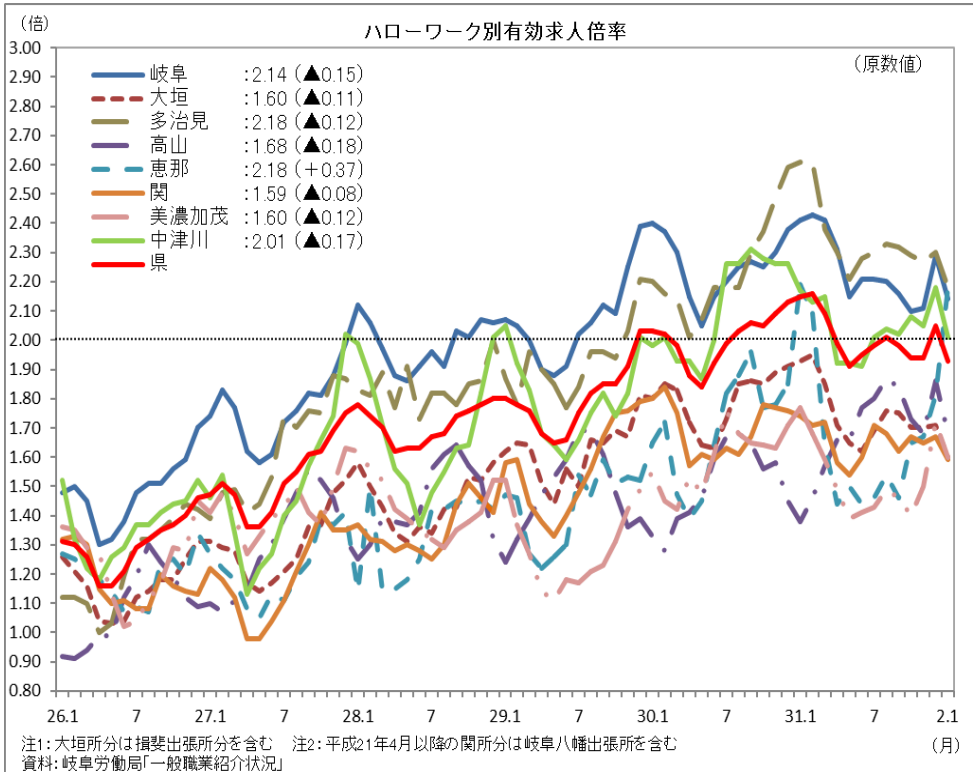
○また、販売職3.8倍、サービス職3.9倍などサービス産業においても人手不足は深刻。

○一方で、事務職の求人倍率は0.7倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

○1月の主要産業新規求人数は、はん用機械で前年同月比▲63.5%、輸送用機械で同▲53.7%、電気機械で同▲51.1%など、多くの産業で減少した。



雇用(地域別)



○1月のハローワーク別有効求人倍率は、岐阜、多治見、恵那、中津川が2倍超にて推移している。一方、前月比では、恵那以外で減少した。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数、求職者数ともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数ともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

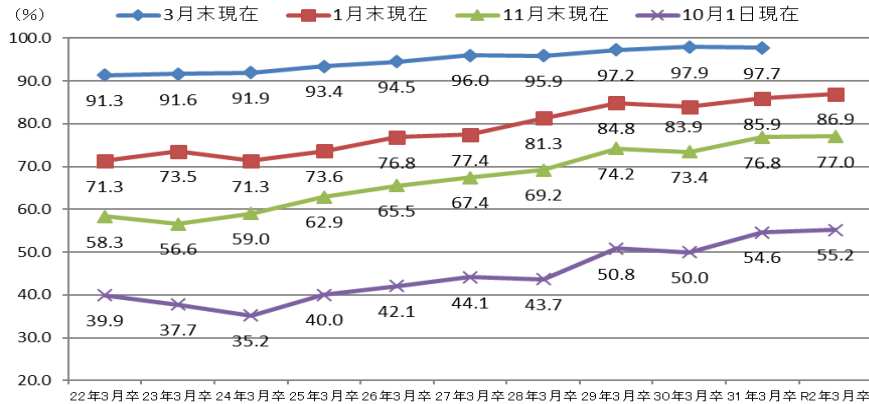
<窓口の様子> ※前月比

- ◆多治見、恵那以外は増加した。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

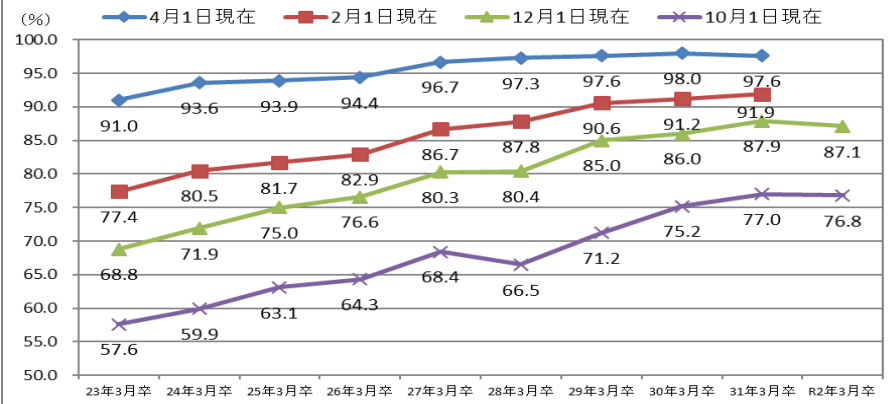
- 岐阜県の令和2年1月末時点の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)の就職内定率は、86.9%であり、前年同時点と比べ1.0ポイント上昇した。
- 全国の令和元年12月1日現在の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)内定率は87.1%であり、前年同時点と比べ▲0.8ポイントと低下した。

新規卒業者(大学・短大等)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大等)の就職状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2020卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

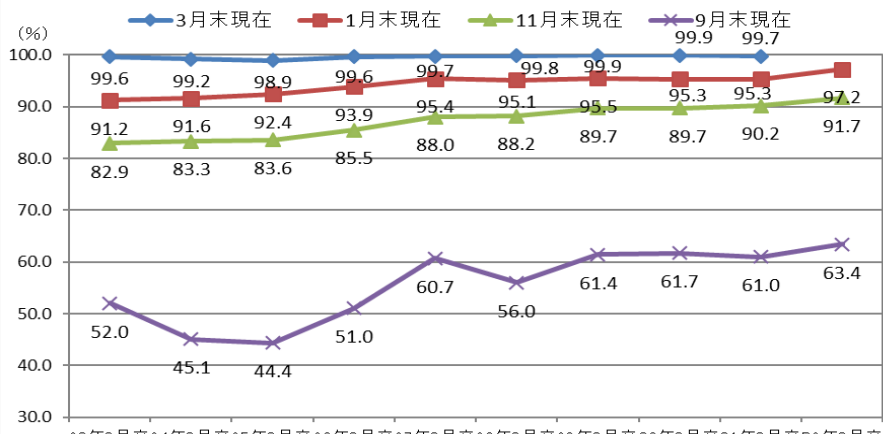
- ◆21卒のキャリアセンターへの予約はかなり入っており、キャンセル待ちの状況。
- ◆新型コロナウイルスの影響で、学内外のイベントが中止となっている。
- ◆外部イベントが中止される中で、企業研究に時間を充てる等、有意義に過ごしてほしい。
- ◆2月末の合同説明会は、学生にとって就活スタートの大事な機会であったため、開催した。(以上、岐阜県内大学)
- ◆21卒に対し、80社程度の企業を招いてセミナーを実施。やっと動き出したかなといった印象。
- ◆21卒は、2月に入りセンターに来る学生も増えてきた。企業研究にも多数の学生が参加してくれた。
- ◆21卒向けの業界研究セミナーには昨年より多くの学生が参加し、意欲が上がってきている様子。
- ◆例年3月に実施していた600社出展のイベントを、今年は2月に前倒して実施した。
- ◆近隣大学では、学内イベントを中止していると聞いている。(以上、愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和2年1月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は97.2%であり、前年同時点と比べ1.9ポイント上昇した。

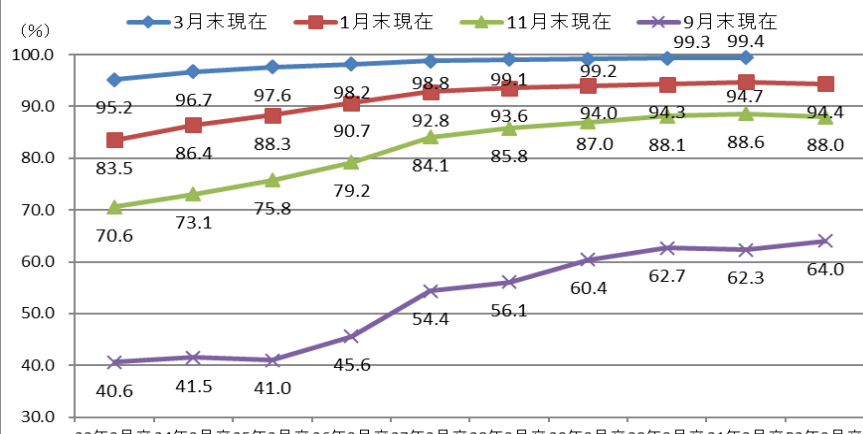
○全国の令和2年1月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は94.4%であり、前年同時点と比べ▲0.3ポイントと低下した。

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<岐阜県>



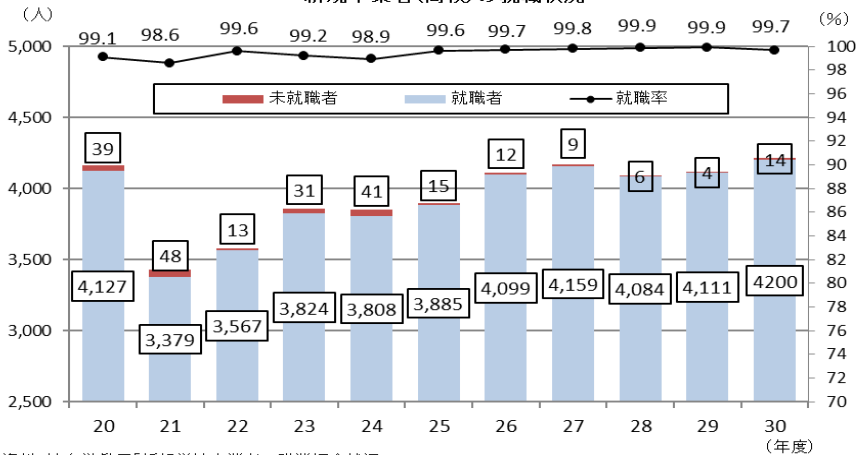
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<全国>



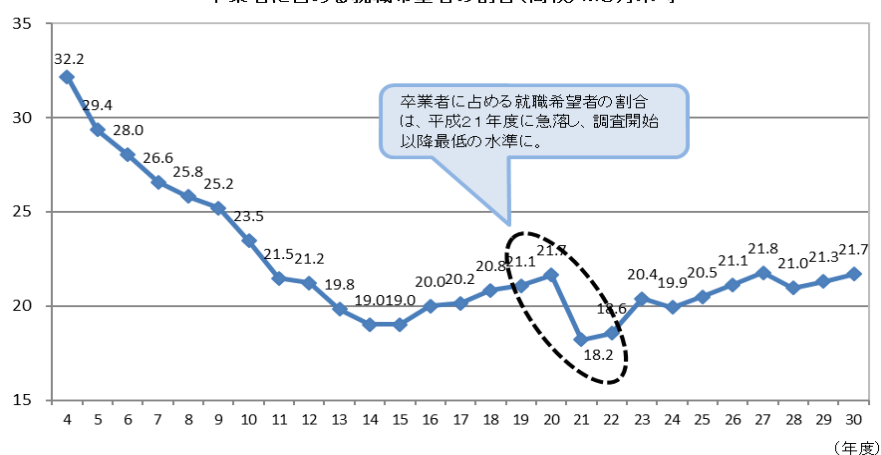
資料: 厚生労働省「高校・中学新卒者の求人・求職・内定状況(高校・中学新卒者)」

新規卒業者(高校)の就職状況



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

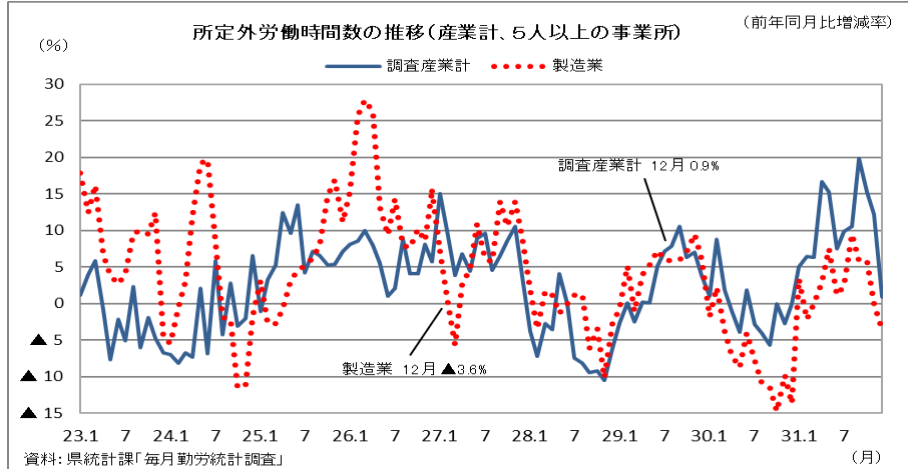
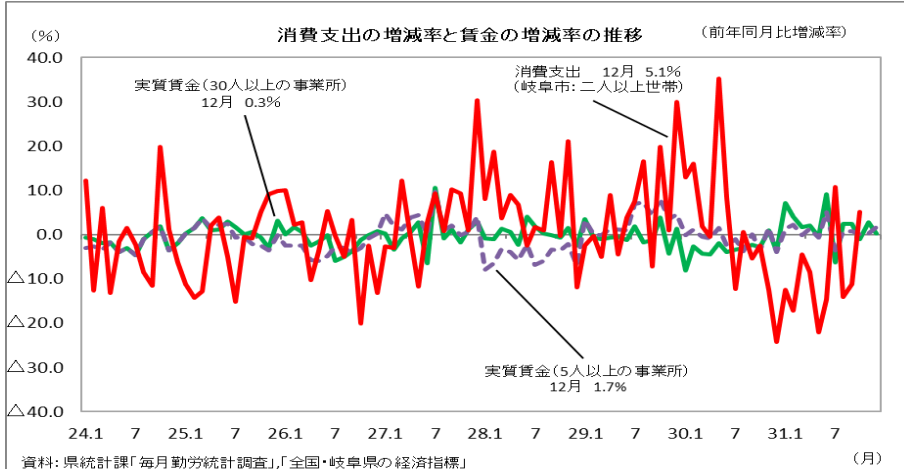
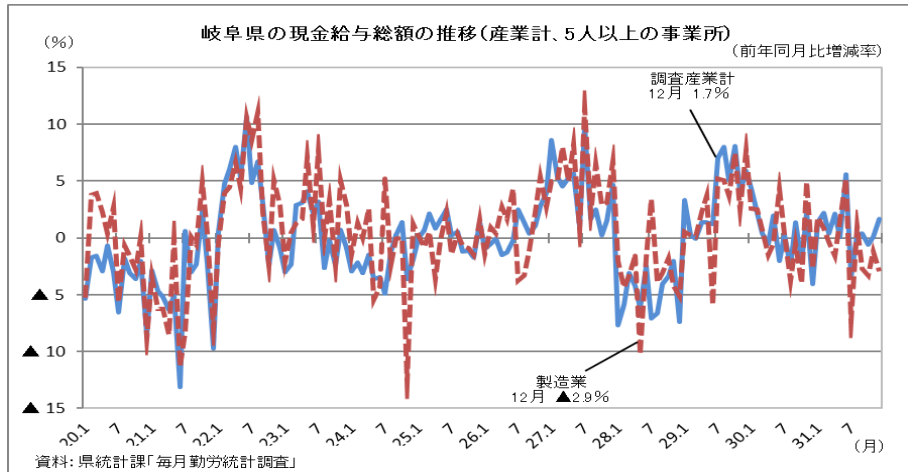
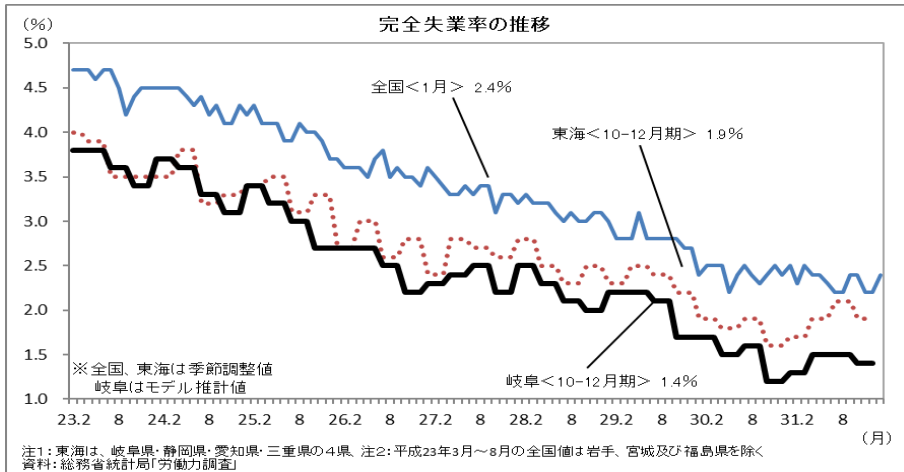
卒業者に占める就職希望者の割合(高校)※3月末時



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

雇 用(完全失業率等)

- 全国の1月の完全失業率は2.4%で前月比0.2ポイント上昇。岐阜県の10-12月期の平均は1.4%で前期比▲0.1ポイントと減少。
- 12月の岐阜県現金給与総額は、全産業で前年同月比1.7%増加、製造業で同▲2.9%と減少。
- 12月の実質賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比1.7%、30人以上の事業所は同0.3%増加。消費支出については同5.1%と3ヶ月ぶりに増加した。
- 12月の所定外労働時間数は前年同月比0.9%増加した。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、鉱工業生産指数で非鉄金属やはん用機械で前月比上昇したものの、化学工業等、低下する産業が目立った。ヒアリングにおいては、これまでの不安定な状況に加え、新型コロナウイルスにより、幅広い産業で、生産や物流等に対して悪影響が出ているとの声が聞かれた。
- 地場産業は、鉱工業生産指数で家具をはじめ全ての産業で前月比低下した。ヒアリングにおいては、市場の悪化に加え、新型コロナウイルスにより生産や物流の停滞のほか、イベントの中止等、悪影響が出ているとの声が聞かれた。
- 設備投資は、工作機械受注額について、国内向けは14ヶ月連続、海外向けは15ヶ月連続で前年同月を下回っている。ヒアリングにおいては、新型コロナウイルスにより、計画の見直しや設備の納期遅れ等が発生している企業も見られた。
- 個人消費は、小売店の12月の販売額については、ドラッグストアとコンビニで前年同月比増加した。ヒアリングにおいては、新型コロナウイルスにより、来客の減少や各種イベントの中止等、大きな影響が出ているとの声が聞かれた。
- 観光は、1月は「麒麟がくる」の放送開始や、春節による旅行需要の増加により、観光客、宿泊客ともに前年同月を上回った。ヒアリングにおいては、1月下旬以降、新型コロナウイルスの影響によるキャンセルや出控えが深刻化している。
- 企業の資金繰りは、借入環境に変化は見られない。一方で、金融機関からは、各種産業に対して、新型コロナウイルスの影響が見られるとの声が聞かれた。
- 雇用面は、有効求人倍率等の関連指標は上昇に転じ、依然として人手不足は慢性化した状態。一方、ヒアリングにおいては、人手不足感が薄まってきてはいるとの声も聞かれている。